

## 3月定例会概要

平成24年3月定例会は、2月27日から3月19日までの22日間の会期で行われました。

今定例会では、平成24年度一般会計予算(総額134億1000万円)、特別会計・事業会計予算(総額83億9017万円)、平成23年度一般会計補正予算(総額2億447万6000円の減額)、特別会計・事業会計補正予算(4449万2000円の減額)の各予算案26件、条例改正案など13件、固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求める人事案1件、合計40議案が市長から提出されました。

3月6日から8日にかけては一

案1件の合計16議案でした。

審査結果は、「飯山市下水道条例等の一部を改正する条例」及び「飯山市簡易水道等条例の一部を改正する条例」につきまして賛成多数で、その他の議案につきましては、全員一致で原案どおり可決または承認すべきものと決しました。

陳情第1号「直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める陳情」につきましては、国において「地域主権戦略大綱」が示されており、なお調査研究が必要との意見があり賛成多数で、継続審査すべきものと決しました。

陳情第2号「TPP交渉参加協議の撤回を求める陳情」につきましては、全員一致で採択すべきものと決しました。

## 福祉環境常任委員会

福祉環境常任委員会に付託されました議案は、平成24年度一般会

般質問に13名の議員が登壇し、9日、12日、13日には総務文教・産業建設・福祉環境委員会へ、付託された議案について審議しました。

最終日19日には、議員提案の「市長の専決処分事項の指定について」を含め、提出された議案についてすべて原案のとおり可決・承認されました。

請願1件の審査の結果については、継続審査としました。

陳情2件については、1件を採択とし、1件を継続審査としました。

議員提案の意見書1件については、全員一致で可決しました。

## 委員会審査

3月9日、12日、13日には各委員会において審査が行われました。

計予算案の関係部分1件、特別会計予算案5件、平成23年度一般会計補正予算案の関係部分2件、特別会計補正予算案5件、条例案1件、事件案2件の合計16議案でした。

審査結果は、飯山市介護保険条例の一部を改正する条例につきましては賛成多数で、その他の議案につきましては、それぞれ全員一致で原案のとおり可決または承認すべきものと決しました。

## 一般質問

3月6日、7日、8日には、13名の議員から市政に対する一般質問が行われました。

※以下、内容は要約して掲載させていただきます。

## 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会に付託されました議案は、平成24年度一般会計予算案の関係部分1件、特別会計予算1件、平成23年度一般会計補正予算案の関係部分1件、特別会計補正予算案2件、条例案4件、事件案4件の合計13議案でした。

審査結果は、すべて全員一致で原案のとおり可決または承認すべきものと決しました。

請願第1号「国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める請願」につきましては、審査の過程において、「社会保障財源の確保と財政健全化を目的に、復興増税に続いて、国民に過大な負担を押し付けようとしている」

## 婚活から

### 「縁結び」へ



高山恒夫議員

◇さわやか婚活応援事業について  
【質問】婚活支援に期待をしている。  
【答弁】住んでみません課を窓口を担当職員を配置する。結果を出す取組みをしたい。



さわやかな婚活支援に期待

◇文化的景観保存計画策定事業について  
【質問】計画策定事業のねらいは。

【答弁】小菅地区には市内最多16件の指定文化財がある。個別の文化財を一体化し文化的地域として保護するもの。2カ年で調査保存計画を策定し、平成26年に国へ申請する。調査範囲は文化的景観要素の全てであり、集落全体が対象となる。指定後は広く保存事業に

との意見がありました。消費増税関連法案や、増税を停止する「景気弾力条項」などの話し合いが進められていることから、国の動向を注視し、更に慎重な審議・検討をすべきとの意見もあり、審査の結果、継続審査にすべきものと決しました。

## 産業建設常任委員会

産業建設常任委員会に付託されました議案は、平成24年度一般会計予算案の関係部分1件、特別会計予算案4件、水道事業会計予算案1件、平成23年度一般会計補正予算案の関係部分1件、特別会計補正予算案4件、水道事業会計補正予算案1件、条例案3件、事件

国からの支援が見込まれる。  
◇公共交通政策について  
【質問】交通体系見直しと今後の観光二次交通との関連は。

【答弁】廃止代替路線の温井・小境線2路線を一部予約型デマンド方式に切り替える。幹線交通であるJR飯山線や民間バス路線の利用促進とともに、新幹線開通後の観光二次交通も含めた一体的な地域公共交通システムを引き続き検討していく。

◇信越線経営分離とJR飯山線について  
【質問】新幹線開業後のJR飯山線への影響はどうか。

【答弁】飯山線の運行形態に変更はないが、料金体系については、しなの鉄道(長野―豊野間)とJRとの調整が考えられる。県とも連携し内容が決まり次第説明したい。

◇水資源保全対策について  
【質問】外国資本による水源林買取にどう対処するか。  
【答弁】市内の水道水源施設は34施設。今のところ具体的事例はない。所有形態での私有地16箇所については今後公有化が必要と考える。県や北信広域市町村と連携して取組む。

# 雪対策について



望月弘幸議員

【質問】平成18年豪雪以上の災害となった今冬の雪で災害救助法の適用にはなったが、すべての対象になつたわけではない。国県へ今冬の状態をしっかりと伝えていくべきだ。

【答弁】しっかりと国県へ要請していく。

【質問】除雪は入札制度により3年契約だが、5〜6年の複数年契約が望ましいと思うがどうか。機械の更新やオペレーターの雇用等問題がある。制度を見直すべきだ。

【答弁】現在3年契約で実施している。現状を見ながら進めていく。

【質問】歩道除雪は歩行者の安全



雪対策をしっかりと!

確保と共に車道の視界確保、事故防止になるが、今後の取り組みは。

【答弁】延長は県と協議していく。

【質問】市街地の雪捨て場は河川敷の1カ所、道路が渋滞し排雪作業に支障が出た。県と連携し複数の雪捨て場確保に努めてほしい。

【答弁】今冬は雪捨て場を2カ所増やしたが、状況を見て対応する。

## ◇農業振興策について

【質問】かつて飯山市はアスパラ、菌茸栽培、米など日本一の生産地であり160億円もの売上高があった。農業再生協議会が発足したが今後どのように進めていくのか。

【答弁】各地区の特色を生かし、JARA長会、生産者、市行政等の組織を生かし英知を絞って進めていく。

## ◇観光行政について

【質問】観光局と商工観光課の連携、そして進め方がよくわからないうという声が多い中、3施設の増改築に入ったが、増客プランは。

【答弁】観光局に指定管理をしており、3つの施設のリニューアルに入った。行政との連携を強化し、新たな目標に向かって進めていく。

# 農業の振興を!!



渡川芳三議員

## ◇静間地籍の都市計画区域の見直しについて

【質問】静間地籍を具体的にはどのような魅力を持つエリアにしようと考えているのか。

【答弁】地区の皆さんの意見を聞きながら自然と利便性の調和するような街づくりを行いたい。一定規模以上の宅地開発については開発指導要綱の制定を進める。

【質問】伍位野から北畑までの間と秋津小学校の北側の道路の歩道等の安全対策を講ずることについて検討して欲しい。

【答弁】教育委員会等とも相談し進めたい。

## ◇広域観光連携について

【質問】飯山はハブ機能を果たすことを想定しているのか。

【答弁】新幹線の駅をハブとして具体的な事業に落とし込んでいく。

【質問】新幹線飯山駅の中または付近に産物販売のアンテナショップを作ることはどうか。

【答弁】具体的にどのようなものか検討して行く。

## ◇農業振興について



植え付けを待つ蓮田んぼ

【質問】農業の現状をどのように見ており、今後どのように振興しようと考えているのか。

【答弁】飯山の農業は高齢化が進み、不耕作地も増えている。課題を全体的に考えるため農業再生会議を発足させた。産業として成り立つ農業をしっかりとやりたい。

【質問】飯山市内の農家の後継者は、毎年何人程度いるのか。

【答弁】新規就農者は、過去5年間で13名おり、内訳は野菜が7名、花卉が3名、キノコが2名、水稲が1名となっている。

# 城南中学校の移転は、教育的で現実的な選択か



上松永林議員

【質問】飯山高校跡地への移転は決定か。県との交渉内容は。市側から県に譲渡を要請したのか。

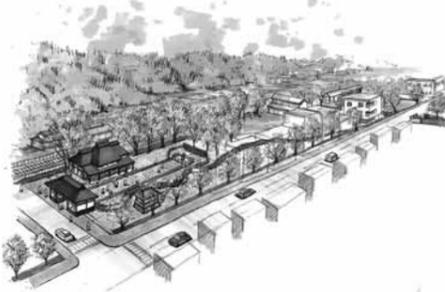
【答弁】城南中学校は耐震性が低いので整備が必要であるが、過疎債を活用しないと整備ができない。基本的には飯山高校へ移転するのがいいと考える。石田前市長が平成19年の市長会で、高校統合の後、空いた飯山高校の校舎を譲ってほしいとの要望をした。また、平成22年には県教育長へ要望書を提出した。できるだけ安い価格で県から譲渡してもらおうと交渉したい。

【質問】生徒数の減少により、移転後すぐ中学1校統合ということになってしまふのではないか。

【答弁】現在の2校統合のときにも話が出て、子供たちの学校生活を考え、2校に統合した経過がある。

【質問】デザイン会議の提案書は24年度予算に反映されるか。市民ぶらさがり駅周辺となったが、まちづくりデザイン計画と合わない。田中地籍は用途地域を変更するのか。

【答弁】今年度は公共空間の修景整備と市民の修景を支援する。デザ



デザイン会議提案の駅西のまちなみイメージ図

のか。審査委員会に推薦するのはだれか。

【答弁】団体も表彰対象。6月頃までに推薦情報を。

# 24年度予算について



渡辺美智子議員

## ◇介護保険について

【質問】保険料が大幅に値上げされるようとしている。65歳以上の1号被保険者では平均28・9%もの値上げで5350円が提示されている。これは相当な負担で大変厳しい。県の財政安定化基金を使えば飯山市ではどれくらいの金額になるのか。近隣市町村の保険料は。

【答弁】サービスの利用状況やサービス拡充給付見込みで算定されている。県の財政安定化基金1820万円余で51円の減額になる。全国的に平均5000円以上と報じられている。県の他市町村は値上げの方向で審議中。

## ◇下水道料金見直しについて

【質問】介護保険改定の中に日常生活総合事業が盛り込まれ、これは要支援者を介護保険から外すもの。市町村がやるかどうかが判断することになっているがどう対応するのか。

【答弁】2次予防対策として要支援の方がこの中に含まれた。市では地域支援事業を全体の30%活用しているので総合事業は今年度行わない。



豪雪地帯の雪掘りボランティア

# 空き家・廃屋対策に 条例制定を！



佐藤正夫議員

【質問】 民家やペンション等で空き家・廃屋が目立つ。豪雪で倒壊もある。観光の面からも対策が必要だ。行政代執行を含め条例を制定して対応することが必要と思う。

【答弁】 空き家と言っても所有者がいるので市が勝手に手を付けることはできないが、先進地の条例等の情報を頂いたので景観計画策定の中で検討を進めたい。

【質問】 最近、雪国に於いて高齢者が、冬期間共同で生活できるような施策が各地で進められている。当市でもそのような施策を進める必要がある。

【答弁】 他市町村では福祉的な観点から取り組んでいるが、当市でも高齢化、特に一人暮らしが増えている。豪雪地帯でも有り雪処理に困る人が多く、市として先進事例を参考に検討したい。

【質問】 地区農業センター（地域農業会議）が具体化し、「人・農地プラン」を作ることに成るが、同時に地域毎の特色を出した振興策を立てることが求められる。それにはリーダーの掘り起こしが特に大切



がんばっている農業

だと考える。国の方向は規模拡大だが農村を維持するには小規模農家への目配りも大切だ。また、農業振興を進めるには異業種との連携も大事であり、行政の仲介が必要と考える。

【答弁】 マスタープラン作成は市の責任で有り、行政は全面的に協力して行くが、ペーパー上だけでは振興は図れない。地区毎の農業センターに於いて、リーダーの下に地域の皆さんが主体になって議論して振興計画を立てて欲しい。様々なノウハウを持つ異業種との連携は是非進めて行きたい。

# 安心して住める故郷を



西條豊致議員

【質問】 戸狹窄部の河川改修早期実施と流下流量測定の調査を。

【答弁】 23年度地質調査及び測量を実施し、右岸の樹木伐採を実施済み。地滑り心配なく24年度から開削を予定するも国の予算が成立なく量的なものが未定。工事前には関係区に説明会を開催する。流量測定は水位計と合わせ中央橋や湯滝橋を国県に要望し実現を図る。

		立ヶ花観測所		飯山観測所		岡照測水所		西大滝ダム	
		流量 (m <sup>3</sup> /秒)	水位 (m)	水位 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /秒)	流量 (m <sup>3</sup> /秒)			
H18.	7.19	6,021	10.68	9.75	4,390	7,528			
H16.	10.21	5,662	10.32	9.37	4,170				
S 58.	9	7,440	11.13	10.09	5,385	5,320			
S 57.	9	6,754	10.54	9.55	4,786	5,123			
S 34.	8	7,260	10.44						

千曲川観測所流量

【質問】 災害時の他市との応援協定と消防団員の打鐘時の安全指導は。

【答弁】 魚津市及び山梨市と相互応援協定を締結しており24年度長

井市と協定調印を進めている。団員は危険と判断する時は打鐘せず警鐘も下部へ移動しても構わない。

【質問】 学力向上と飯山らしい教育でのスキー学習の考え方について。

【答弁】 中高交流学力向上事業及び信州大学の協力で研究授業等を行っている。また、CRTテストでは、国語は全国平均だが、算数・数学は平均より少し低い。家庭学習の充実や教育環境の向上に努力していきたい。アルペンスキーについては、学校の授業だけでなく、ぜひ、各家庭においても、子どもたちをスキー場に連れて行く機会を増やしてほしい。

【質問】 飯山堆肥センターの現状は。

【答弁】 1月7日から再度製造試験に入ったが、計画どおりには行っていない。発酵完了に合わせ、製品の分析をして県に提出し、考察を加えて木島区へ説明する。

【質問】 403号線と都市計画税は。

【答弁】 市施策の幹線道路は市で買収する。今後都市計画区環境整備の創設で見直す403号線は都市計画道路とし県と進めたい。

# 地域福祉の充実のために 小地域ケア会議の設置を



小林初子議員

【質問】 介護保険料が新年度から約3割引き上げが予定されている。高齢化率の高い当市において高齢者が要介護状態にならないようにするための新年度重点施策は何か。

また当市の現状を見た時行政の力だけでは限界があり、地域に理解のある組織をつくり今以上に地域福祉の充実を図っていく必要があると考える。そこで「小地域ケア会議」の設置を提案したいが、そのための研究会を立ち上げては。

【答弁】 集落サロンの開催集落が伸び悩んでいるので、新年度はモデル地域を設定して自主的開催の動機づけや支援を行う。ノルディックウォーキング教室も計画。小地域ケア会議は地域によって差があるので一律にはできない。

## ◇発達障がい支援について

【質問】 子どもに平等な教育環境を整える意味で発達障がい者に有効なデザイン教科書の普及・推進が図られているが当市の見解は。

【答弁】 教育委員会として使用する予定はない。

## ◇防災対策について

【質問】 東日本大震災等の教訓をふまえ防災対策に女性の参画を促し女性の視点を生かした取り組みを。災害時に市民が効果的な避難所運営ができるように避難所運営ゲーム（HUG）を体験できる環境づくりの取り組みを。

【答弁】 防災計画作りや運営・研修会等にも女性の参画を促したい。避難所運営ゲーム（HUG）については勉強させていただきたい。



県危機管理部出前講座を利用してHUG（避難所運営ゲーム）を体験

【質問】 子育て中のお母さんが、がん検診時託児サービス利用可能に。

【答弁】 研究したい。

# 平成24年度予算について



水野晴光議員

【質問】 公共交通の小境、温井線がデマンド運行との事。内容や地区説明は。

【答弁】 小中学生の通学時、朝夕は定時運行する。買い物・通院等は予約運行で行いたい。地区説明と共に運行バス内でも行う。

【質問】 医学生奨学金は23年度は未利用であった。24年度は希望者を地域外へも拡大募集してはどうか。

【答弁】 24年度は飯山市の学生主体だが、地域外の人も対象とする。

【質問】 本町アーケード改修計画がある。管理不備が目立つが対応は。



本町アーケード

【答弁】 1000市負担での建設は考えていない。本町の皆さんの考えが具体的に決まったら支援をする。

【質問】 中国に飯山連絡所を開設してあるが、現状と今後について。

【答弁】 昨年10月JAと市が農業団体や行政の観光課を訪問宣伝した。南は深圳市、北は大連市と交流を深め観光や農産物の輸出を考える。

【質問】 弱者世帯の道踏みや屋根雪処理に機械使用を要望する。

【答弁】 アンクル付きの雪下ろしと自然落下の入り口付近の雪片付けのみ対象で、けだしの道路は対象外。本年は豪雪で災害救助法が適用となり最小限の機械利用が認められた。機械利用は県へ要望する。

【質問】 広大な工場団地が未利用で現在の経済状況では企業進出には時間が必要となると思う。進出が決定するまで多方面へ働き掛けて利用促進を計り、維持経費軽減を。

【答弁】 整備が必要なので難しいと思う。研究していく。

【質問】 原発事故でキノコ培地の放射能測定が必要となった。

【答弁】 東電への一括請求は無理。

## 新幹線駅対策と 災害に強い地域を!!



渡邊吉晴議員

【質問】飯山市では大規模災害に  
対しどのような対応をしているか。

【答弁】年に一度、各地区を持ち  
回りで総合防災訓練をやっている。  
また、万が一の大災害に対し毛布・  
水等を備えている。

◇自主防災組織の取組みについて

【質問】各地区で自主防災組織を  
立ち上げ現在87地区でつくられて  
いると聞くが訓練をやっている地区  
は少なく、ほとんどの地区が訓練  
をやっていない為、年に一度自主防  
災の日を定め各地区に見合った訓  
練をしたら良いと考えるがどうか。

【答弁】年に一度の飯山市の総合防  
災訓練の日に合わせて各地区でも  
訓練をやったら良いと考えるが折  
を見て訓練を進めて行く。

◇新幹線飯山駅を中心とする広  
域観光の取組みについて

【質問】9市町村による広域観光  
の取組みを立ち上げた事は高く評  
価するが、駅の駐車場の利用面で、  
除雪はどう考えているか。

【答弁】駅前については歩道は無散  
水、他は地下水で消雪し、駅西駐  
車場は重機で除雪を行う。トンネ

ル内の水利用も考え検討している。  
◇千曲川河川の雑木伐採について  
【質問】昨年3月の答弁では千曲  
川河川事務所と飯山市で伐採を進  
めていくと聞いたが、その後どうか。  
【答弁】伐採は進めているが、個人  
の土地も有り思う様に進まないが、  
要望をして本年も進める。



千曲川河川の雑木伐採を!

◇自然エネルギーに対する予算  
と取組みについて

【質問】24年度に21万円余の予算  
が組まれたが、どの様に使うのか。  
【答弁】調査費として上げたが、ど  
こで使用するかは決まっていない。

## 観光行政について



石田克男議員

◇雪害対策について

【質問】除排雪はもうすこし効率  
的にできないか。

【答弁】今年は災害なので理解して  
ほしい。

【質問】自主防災組織作成は他団体  
と連携を取りながら進めてほしい。  
【答弁】そのように進めたい。



豪雪による雪害

◇住宅リフォーム支援事業につ  
いて

【質問】予算を拡大できないか。  
【答弁】できるだけ要望に応えたい。

## 原発廃止と

### 自然エネルギーについて



竹井政志議員

【質問】人類史上最悪の「レベル7」  
の福島原発事故で放出された放射  
能は、広範囲に広がり事故「完全  
収束」に至るまで30年、40年必要  
と言われる。市長として、住民の  
生命と財産を守る立場から自然エ  
ネルギーへの転換をどのように考  
えるか。

【答弁】原発は一度事故があれば制  
御できない。長期的には自然エネ  
ルギーに転換していくべき。県も力  
を入れているので市としても自然エ  
ネルギーの活用に取り組む。



岩手県・松川地熱発電所

◇TPP問題について

【質問】参加すれば経済活動と国  
民生活全般にわたって、打撃を受  
けることが明らかになってきた。飯  
山市の農業振興策として「国の方  
針に基づき」とあるが、国の「T  
PP参加の方針に基づく」ことな  
のか。また、「飯山の基幹産業は農  
業である」と言えるのか。

【答弁】国の制度がこうなっている  
からその枠の中でやるのではなく  
飯山市の農業は現実的な取り組み  
産業として成り立つ地域をめざし  
て県や国に要望をあげていく。

◇社会保障と税の一体改革につ  
いて

【質問】消費税増税と合わせて年  
金支給額の減額やお年寄りの医療  
費窓口負担の引き上げなど社会保  
障の削減が盛り込まれている。地  
域経済や福祉行政のあり方まで影  
響すると思うが、市長の見解は。  
【答弁】消費税が増えたと市民の  
消費や経済にも悪い影響があると  
心配。状況を見て市長会を通じて  
要望などをあげていく。

## 飯山駅〜蓮駅間に

### JR飯山線の新駅設置を!



山崎一郎議員

【質問】高校統合に併せ、現飯山  
高校の校舎を城南中としていく計  
画なら、飯山駅〜蓮駅間に新駅の  
設置を要望するが可能か。

【答弁】新駅の設置は可能ではあ  
るが、重要なことは、利用客の増  
が設置を決める一番のポイントにな  
る。したがって中学生だけでなく  
郊外店への利用客がどの位あるの  
かに加え、県の出先機関等への利  
用客がどの程度見込めるかが重要  
だ。他にも設置には様々な条件が  
あり、特に駅名設置で数億円の費  
用が必要と言われている。しかし  
新幹線と同時に安くできる可能  
性はあると思われる。

【質問】新駅設置は学校対策だけ  
の問題でなく、市の喫緊の重要問  
題である人口増を図る為にも、市  
民に明るい夢の持てる施策となる。  
前向きに進めるべきと思うが。

【答弁】課題もあるが、丁度いま  
静間地籍の都市計画区域編入問題  
があるので、それらも踏まえて実  
現目指して検討したい。



静間地籍から飯山高校を望む

◇スポーツツーリズムの重要性

【質問】健康志向の時代にあつて新  
幹線開通後の市の将来を考えると、  
スポーツと地域の持つ自然のよさ  
との関連を活かすことは重要なこ  
とだ。どのように取り組むのか。

【答弁】指摘の通りと考えている。  
これからは都会から2時間で来れ  
るわけで、自然の中でスポーツを  
楽しみリフレッシュしていただけれ  
ば最高だ。これからの広域観光の  
大きな事業の一つになると考えて  
いるので、近隣市町村と連携して取  
り組んで行きたい。

◇議案第40号  
固定資産評価審査委員会委員の  
選任に関する同意を求めること  
について  
阿部 紀雄 氏  
《同意議決》

請願・陳情審査  
意見書

◇請願第1号  
国に対し、消費税増税反対の  
意見書を提出することを求め  
る請願  
《継続審査》  
請願者  
須坂・北信濃民主商工会  
飯山市部長 荻原 洋平

◇陳情第1号  
直轄事業の継続と適正な維持  
管理、地元建設業への支援を  
求める陳情  
《継続審査》

陳情者  
国土交通省管理職ユニオン  
北陸支部  
執行委員長 土肥 和弘

国土交通労働組合北陸建設  
支部 千曲川分会  
分会長 宮澤 和久

国土交通労働組合北陸建設  
支部 松本分会  
分会長 境 和宏

国土交通労働組合関東建設  
支部 長野国道分会  
執行委員長 小幡 武志

国土交通省管理職ユニオン  
関東支部  
支部長 中川 順次

◇陳情第2号  
TPP交渉参加協議の撤回を  
求める陳情  
《採 択》  
陳情者  
飯水岳北農民組合  
高橋 正治

◇意見書第1号  
TPPへの参加中止を求める  
意見書

《左記のとおり原案可決》

野田首相は、2011年11月11日、ハワイで開かれたAPEC（アジア太平洋経済協力会議）首脳会議出席直前に、「TPPへの参加に向けて関係各国との協議に入る」と表明しました。翌日の日米首脳会議で、野田首相はTPPへの参加方針を伝え、「すべての物品やサービスを貿易自由化交渉のテーブルにのせる」と表明したと伝えられています。政府は「TPP参加が前提でない」と積明していますが、国民の不信感拭い切れるものではありません。もしそうなら、関税ゼロの原則に対して日本政府は何を例外扱いしよう主張するのか明らかにすべきです。これまでのTPP交渉では、関税ゼロを大原則とする貿易分野にとどまらず、様々なルールの「共通化」・規制緩和も論議されています。日本が参加することになれば、これまでアメリカをはじめ各国が日本に求めて来た規制緩和があらたに協議されることとなります。さつそくアメリカは牛肉の輸入条件緩和、郵政民営化の徹底、自動車分野の協議を求めてきました。さら



県知事への要望

また、平成24年2月9日には、上記について県知事・県議会議長へ、要望・陳情活動を行いました。国の関係機関に対しては、決議書を送付し、豪雪地帯への理解を求めました。



県議会への陳情

編集後記

長い冬も終わり待望の春になりましたが、今年の豪雪で3名の市民の方がお亡くなりになりました。多数の負傷者が続出されましたが、改めてお悔やみ申し上げます。また、残雪による北部地域での作付けやアスパラ、春野菜の生育遅れが心配される所です。新幹線開業も目前に迫り駅前整備が着々と進む中で、4月11日駅舎の起工式がしめやかに取り行われ、いよいよ本格的に駅舎建設が始まります。また、秋津地区から駅への利便性確保の為、静間線工事や仮称飯山ぶらざの設計、用地買収が行われ、一段と各種工事の進展が計られる年度となりそうです。議会としてもしっかり機能を働かせて行く所存です。市民の皆さんの御意見、要望をお寄せください。（水野晴光）

議会だより編集委員会

- 委員長 小林喜美治
- 副委員長 渋川 芳三
- 委員 西條 豊致
- 水野 晴光
- 小林 初子
- 水野 英夫
- 久保田 幸治

「長野県特別豪雪地帯

指定市町村議会協議会」

活動報告

去る、平成24年2月2日、木島平村において、長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会の総会が開催されました。

総会の中では、2年に一度の役員改選や、今冬の異常豪雪を受け、国県においても豪雪地帯の実情や財政事情を認識し、下記の措置を講じるよう強く要望する」旨の特別決議がなされました。

“長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会”について

特別豪雪地帯の指定を受けた市町村の議会が緊密に連携し、雪害対策等の推進をはかることを目的として、昭和56年2月6日に設立されたものです。

飯山市、信濃町、山ノ内町、白馬村、長野市、栄村、小谷村、高山村、木島平村、野沢温泉村の各市町村議会で構成されており、現在、飯山市議会議長が会長を務めています。



右から 会長（飯山市）、副会長（信濃町、小谷村、山ノ内町）、監事（長野市、栄村）